

マテリアリティ(重要課題)

私たちは「限りない創造 社会への奉仕」を社是とし、当社の成長を通じて持続可能な社会の実現に貢献し、「社会的価値」と「経済的価値」の両立を目指しています。2030事業計画で掲げている「目指す姿」と「提供価値」の実現に向けて、変化する事業環境を考慮し、社会予測やSDGsなどのさまざまな社会課題の中から、当社として特に貢献できる重要な分野を「マテリアリティ」として選定し、取り組んでいます。

マテリアリティ特定のプロセス

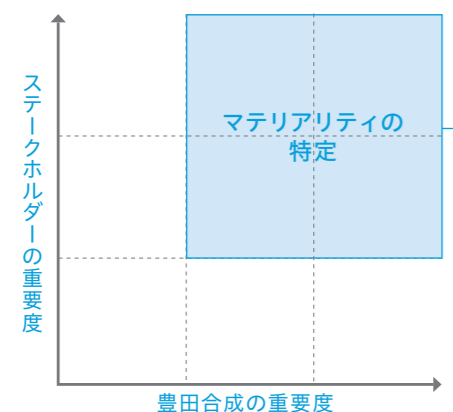
STEP1 マテリアリティ候補の抽出
 社会課題、市場・社会動向、GRIスタンダード、SDGs、他社マテリアリティなどを参考に、関係部門より選任されたサステナビリティ推進メンバーにて検討すべき課題を抽出(59項目)

STEP2 マテリアリティ候補の評価・分析
 豊田合成の重要度(経営理念、経営資本、競争優位性・強みとの相互作用など)、ステークホルダーの重要度(社会課題への貢献、ESG活動の推進など)に基づき分析・評価

STEP3 経営陣による妥当性評価
 特定プロセスを含む抽出した重要課題に対して、社外取締役をはじめ役員、投資家への意見聴取を行い、マテリアリティの妥当性を評価

STEP4 マテリアリティの特定
 経営会議体での審議を経て重点取り組みテーマを選定

STEP5 レビュー
 会社方針と紐づけた取り組みのレビュー、サステナビリティ会議における確認・定期的なマテリアリティの見直しを実施



| 社会課題/メガトレンド | 機会とリスク | 発現時期 | | | 企業インパクト | |
|--|--|------|-----|-----|---------------|----------------|
| | | 短期 | 中期 | 長期 | ポジティブ (機会) | ネガティブ (リスク) |
| ■自動車の技術革新(電動化・知能化)と安心・安全なモビリティ社会の両立 ■デジタル・IT化の加速による企業競争力の変化 CASE(BEV/FCEV)市場拡大 MaaS市場拡大 市場変化 デジタル化・IoT・DX加速 | BEV普及による新技術・新製品の戦略的な市場投入(OEM・サプライチェーンの進化) | ● | ● | ● | ↑↑ | ↓↓ |
| | BEV先行市場の拡大、BEV先行OEMの躍進(市場・勢力図の変化) | ● | ● | ● | ↑ | ↓↓ |
| | 環境負荷の低いHEV・PHEVの需要拡大 | ● | ● | ● | ↑↑ | |
| | FCEV市場の伸展 | | | ● | ↑↑↑ | |
| | 交通事故未然防止技術の進化 | ● | ● | ● | ↑↑↑ | |
| | 燃料系部品の需要減少 | | ● | ● | | ↓↓ |
| ■環境問題の深刻化 ■気候変動と資源不足によるビジネスの転換(法規制厳格化) 環境・資源 | 利用者のクルマに対する価値観・使い方の変化(交通インフラの発達、より快適な車室空間) | | ● | ● | ↑↑ | ↓↓ |
| | 新興国のインフラ強化・法規制による自動車市場拡大 | ● | ● | ● | ↑↑↑ | |
| | 生産～納入の効率化(リアルタイムモニタ・予防保全・無人化など) | ● | ● | ● | ↑↑↑ | |
| | グリーンテクノロジー※、グリーントランスフォーメーションによる新分野の市場拡大 | ● | ● | ● | ↑↑↑ | ↓↓ |
| | カーボンプライシングの導入による競争力の変化 | | ● | ● | ↑↑↑ | ↓↓↓ |
| | ゴム・樹脂材料の使いこなし、材料開発(リサイクル材料、軽量化、材料置換、新規材料) | ● | ● | ● | ↑↑↑ | ↓↓ |
| ■人口構造の変化(少子・高齢化) ■価値観の変化/働き方の多様化 人的資本 | 異常気象による大規模災害 | ● | ● | ● | ↑↑ | ↓↓↓ |
| | 省エネ・再エネの促進(エネルギーコスト低減、GHG排出量削減) | ● | ● | ● | ↑↑↑ | |
| | DE&Iの促進による思考・スキル・経験の多様化 | ● | ● | ● | ↑↑↑ | |
| | 人材ポートフォリオに基づく効率的な人的資本の活用 | ● | ● | ● | ↑↑↑ | |
| | 労務費高騰、採用難 | ● | ● | ● | | ↓↓ |
| | 地政学リスクや感染症・災害による生産影響、サプライチェーン分断、人的被害 | ● | ● | ● | ↑↑ | ↓↓↓ |
| ■BCPリスク ■地政学リスクの高まり サプライチェーン ガバナンス | 部品・原材料不足・価格高騰、物流コストの上昇 | ● | ● | ● | | ↓↓↓ |
| | 重要品質問題・リコールの発生 | (●) | (●) | (●) | | ↓↓↓ |
| | サイバー攻撃・詐欺メール | (●) | (●) | (●) | | ↓↓↓ |
| | 機密情報漏洩 | (●) | (●) | (●) | | ↓↓ |
| | 独占禁止法違反(談合・カルテル) | (●) | (●) | (●) | | ↓↓ |
| | | | | | | |

※ グリーンテクノロジー：環境問題を解決、あるいは緩和するための技術・製品(例：軽量化や脱炭素に資する技術・製品など)

短期(3年以内)、中期(2029年まで)、長期(2030年以降)

↑:ポジティブインパクト、↓:ネガティブインパクト

マテリアリティ(重要課題)

事業活動

経営基盤

| 社会課題／メгатレンド | サステナビリティ重要課題 (マテリアリティ) | 主な取り組み (社会課題・機会リスクへの対応) | KPI・中長期目標 (2030年度) | 関連するSDGs 最重要分野 |
|---|---|--|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> クルマの様変わりへの対応 交通死亡事故の低減による安心・安全、快適なモビリティ社会の実現 | <ul style="list-style-type: none"> BEV化に向けた新製品の開発 BEV先行市場・OEMへの拡販 | <ul style="list-style-type: none"> BEV関連売上収益比率:40% <small>目標設定の計算式 BEV生産台数/自動車生産台数 ※S&Pグローバル情報に基づく</small> |  <p>安心・安全・快適なモビリティ社会の実現</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> コア技術を活用した新規事業の創出 | <ul style="list-style-type: none"> すべての人に安心・安全、快適を届けるためのエアバッグ製品の開発・拡販 | <ul style="list-style-type: none"> エアバッグの生産個数 : +1.5倍(2022年比) | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量削減・温室効果ガス排出量削減による脱炭素社会の構築 廃棄物低減・水リスク低減による循環型社会の構築 | <ul style="list-style-type: none"> 新規事業開発の経験を活かした新規ビジネス拡大 コーポレートベンチャーキャピタルの活用 デジタル化推進による業務革新 | <ul style="list-style-type: none"> キャッシュ・アロケーションに基づく(安心・安全、快適、脱炭素の貢献領域の拡大を目指した研究開発費や人的投資、戦略投資を中心に資金配分) |  <p>イノベーション創出による社会課題解決</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量削減・温室効果ガス排出量削減による脱炭素社会の構築 廃棄物低減・水リスク低減による循環型社会の構築 | <ul style="list-style-type: none"> ゴム・樹脂分野の知見を活かした環境配慮型ビジネスの構築 カーボンニュートラルの実現に向けたグローバル一体活動 循環型社会への貢献 (Car to Car リサイクル) | <ul style="list-style-type: none"> スコープ1、2:カーボンニュートラル スコープ3:△27.5%(2019年比) 再エネ導入率:100% 廃棄物量(総量)【単体】:△50%(2012年比) 廃棄物量(原単位)【海外】:△55%(2015年比) | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> 地域社会との共生 多様な人材の活用推進・人権尊重 | <ul style="list-style-type: none"> 地域社会に根差した取り組み(地域自立的経営、センターオブエクセレンス) ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン 安全・健康経営 サステナビリティ経営を支える品質とサプライチェーンの強化 地政学・経済的リスクへの対応 | <ul style="list-style-type: none"> 人権に関する研修実施率:100% 海外拠点のナショナルスタッフ幹部比率(副社長以上):60%以上 女性管理職数(比率)【単体】:100人(8.8%) 中途採用者の管理職比率【単体】:30%以上 仕入先のサステナビリティ活動実施率:100% 従業員エンゲージメント肯定率【単体】:75% 重大災害発生件数:0件 |   <p>多様な人材の活躍による持続的成長</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> 誠実な会社としてのコーポレートガバナンス コンプライアンスの徹底 | <ul style="list-style-type: none"> BCPのレジリエンス強化 内部統制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> 重大法令違反件数:0件 サイバーセキュリティ重大インシデント:0件 | |
|  | <ul style="list-style-type: none"> 誠実な会社としてのコーポレートガバナンス コンプライアンスの徹底 | <ul style="list-style-type: none"> BCPのレジリエンス強化 内部統制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> 重大法令違反件数:0件 サイバーセキュリティ重大インシデント:0件 |  <p>公平で透明性のある企業統治体制</p> |